

今月の管内農業情報(田原農業改良普及課)

[2014年10月1日]

9月の農業情報

タイトル キヤラママで子供の心を掴め！

とき 平成26年9月7日(日)

ところ 中部国際空港

主体・対象 JA愛知みなみ輪ギク部会青年部役員 12名

内容

JA愛知みなみ輪菊部会青年部は、仏花や葬儀用の輪ギク需要の低下に危機感を持ち、輪ギクをより広く家庭で消費して貰いたいという思いで、PR活動に取り組んでいる。その一環として「重陽の節句」に合わせて、9月7日に「中部国際空港セントレア」で販売促進イベントを開催した。

イベントでは、9月9日の「重陽の節句」は、菊の節句として菊に長寿を祈る日であることを紹介し、消費者にキク本来の花の美しさを知って貰おうと「フルブルームママ」と呼ばれる満開の花を使ったアレンジブーケ、花をパンダとウサギのキャラクターに見立てた「キヤラママ」など産地特産の輪ギクの花束をセントレアの来場者や子ども達に配布した。

日頃、満開の輪ギクを見る機会が無い消費者は、大輪の「フルブルームママ」のインパクトに惹き付けられていた。特に「キヤラママ」は、子ども達から「とてもかわいい」と好評で、「大人も欲しい」という声も挙がった。青年部会員は「喜んでもらえて嬉しい。キクを身近に感じてほしい」と語り、イベントに手応えを感じていた。

農業改良普及課では、「フルブルームママ」「キヤラママ」を用いた青年部の販売促進活動が、輪ギクの需要拡大に繋がるよう支援していく。



「キヤラママ」と「フルブルームママ」のアレンジブーケ 子どもに「キヤラママ」を渡す青年部員